岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　一般国道　１８４号 道路改良事業に伴う業務委託（地質調査）

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　道路　トンネル・地下空洞

ボーリング名	BV-6	調査位置	広島県尾道市門田町地内	北緯	34° 24’ 57.1378″
発注機関	広島県東部建設事務所　三原支所	調査期間	令和4年 6月30日～ 令和4年 7月 7日	東経	133° 11’ 04.1943″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 35.42m	角度	180°上 90 下 0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南
総削孔長	12.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機D1-B48型
					エンジン：ヤンマーディゼルNFD-12　ポンプ：東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
1				崖錐堆積物	茶褐灰							(100)	礫混じり土砂状を呈する。	
												(100)	上部60cmは黒灰色を呈する。	
2	33.12	2.30											径2～30mmの亜角礫を含む。	
3	31.92	3.50		風化花崗岩	茶褐	w5	h2	E	Ⅵ	d	DM	0[0](100)	岩芯まで風化し、指圧にて容易に砕ける。	
4				風化花崗岩	茶褐	w4	h2	D	Ⅴ	c	DH	0[0](100)	風化が進行して表面はざらついている。	7/5 3.70
5												0[0](100)	岩芯まで風化している。	
6												0[0](100)	指圧にて容易に砕ける。	
7												0[0](100)	GL-6.80m付近に数mm程度の粘土脈が認められる。	
8												0[0](100)	GL-7.00m付近まで風化が進行し、茶褐色となる。	
9	26.32	9.10										0[0](100)	GL-8.30m～-8.70m間は縦亀裂が認められる。	7/7 8.50
10				風化花崗岩	淡褐灰	w3	h2	C	Ⅲ	c	CL	19[55](100)	岩片は硬質である。	
11												12[52](100)	短柱状コアとして採取される。	7/8 10.20
12	23.42	12.00										41[51](100)	亀裂がやや発達し、亀裂面は褐色となる。 全体的に風化がやや進行している。	
13														
14														
15														
16														
17														

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1	1.15	1 / 300		
	1.45			
7	2.15	7 / 300		
	2.45			
36	3.15	36 / 300		
	3.45			
50以上	4.15	50 / 290	290	
	4.44			
50以上	5.15	50 / 230	230	
	5.38			
50以上	6.15	50 / 100	100	
	6.26			
50以上	7.10	50 / 80	80	
	7.18			
50以上	8.05	50 / 30	30	
	8.08			
50以上	9.00	貫入不能		

深度－N値図

原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
			200		S/MC	0	0	0	W0	0
エラスト					SW/MC					
		7/4		86/ケーシング						
		7/5	100		/DI	10	100	1	W3	5
エラスト	9.65 密度 圧裂 9.85									
	10.80 密度 一軸 超音波 10.95	7/6								